

FUJI SABO通信

ふじあざみ

発行
建設省中部地方建設局
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話0544 (27) 5221
<http://www.cb.moc.go.jp/fujisabo>

この度、『富士砂防だより』が『Fuji SABO通信 ふじあざみ』と名称を変え、スタイルも一新してリニューアルいたしました。ますます楽しく役立つ情報を満載していきたいと思っておりますので、今後ともご愛読よろしくお願いいたします。

みんなで防ごう土砂災害 6月は

土砂災害防止月間

—いのちを守る緑・いのちを育む緑—

6月1日(木)～6月30日(金)

平成11年に起きた土砂災害は1,501件、全国47都道府県のすべてで発生し、6月の広島市・呉市を中心とした集中豪雨では、24人もの尊い人命が奪われました。新たな宅地開発等に伴い、土砂災害の危険箇所は年々増加の傾向を見せています。そこで国では『土砂災害防止法』を定め、土砂災害の恐れのある区域での危険周知、警戒避難体制整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進や、火山地域に対して火山防災マップを配布するなど、土砂災害を未然に防ぐ対策を推進しています。



土砂災害ってなあに？

大雨が降って山やがけが崩れたり、水とまじり合った土や石が襲って家や道路を壊し、人の命まで奪ってしまう恐ろしい災害です。豊かな自然に恵まれた日本ですが、反面、国土の7割が山地で急流の川が多く、台風や集中豪雨などの気象条件によって土砂災害の発生しやすい環境にあります。

地すべり

斜面の土が地下水の影響と重力により下に移動する現象。一般的に移動する土の量が多いため甚大な被害を及ぼし、動き出すと完全に停止させるのは非常に困難です。

こんな現象が起きたらすぐに避難

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す



地附山の大規模地すべり
(昭和60年7月、長野市)

土石流

山や川底の石や土砂が集中豪雨などで一気に下流へ押し流される現象を言います。一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

こんな現象が起きたらすぐに避難

- 山鳴りがする
- 急に川の流れが濁り流木が交ざっている
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



広島県広島市佐伯区の荒谷川で流木を巻き込み流下した土石流(平成11年6月)

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などによって急激に斜面が崩れ落ちる現象。スピードが速いため、人家の側で起きると死者の割合も高い災害です。

こんな現象が起きたらすぐに避難

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がばらばらと落ちてくる



がけ崩れにより住宅2戸が全半壊
(平成9年7月、石川県内浦町)



富士砂防工事事務所 事業予算の概要

1.概要

富士山南西山麓における、大規模な土砂流出に伴う災害から地域と下流の重要交通網等を保全するため、**大沢崩れを有する大沢川の遊砂地、ならびに南西野溪の土石流対策砂防施設の整備**を主とし、流木対策および土石流監視システムの整備を含む、**総合的な土砂災害対策を積極的に推進し**、安全で安心できる地域づくりを図ります。
この際、当地域の優れた**自然に配慮し、除石土砂の有効活用**、運搬手段の開発等、**環境負荷の軽減**をはかるとともに、豊かな自然植生の復元を支援することとします。

(単位:百万円)

2.事業費

事業名	箇所名	平成12年度事業費	平成11年度事業費	対前年比
直轄砂防事業	富士山	2,810	2,735	1.03

※事業費は調査費を含みます。※平成11年度事業費は当初事業費※平成12年度事業費には、国土交通省関係分を含みません。

3.主要事業

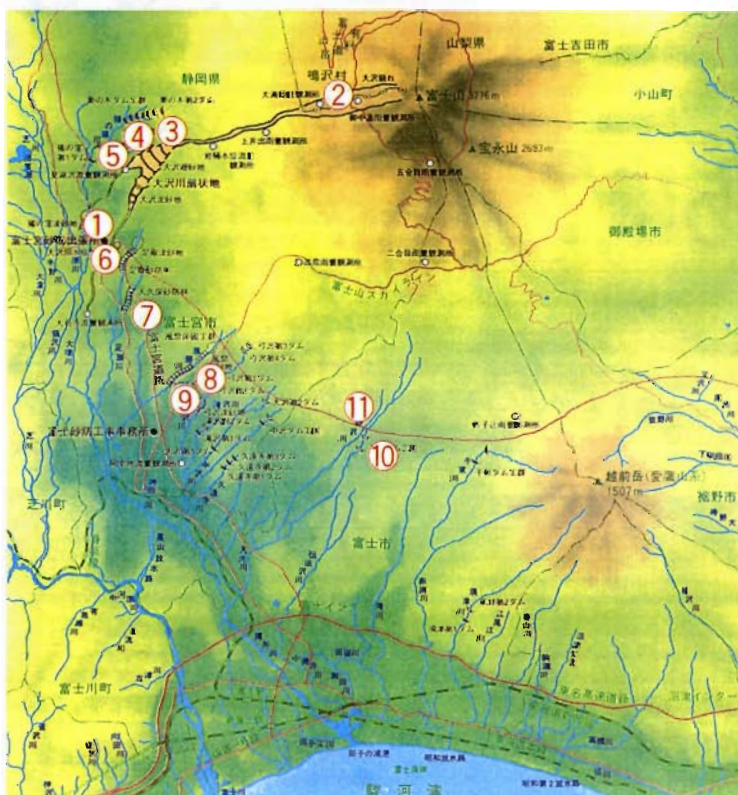
事業名	内容
土砂災害対策	1.大沢崩れ対策 ・大沢扇状地の堆積土砂の、除石工事および床固工の補強工事を行います。 ・また上流大沢源頭域では、大沢崩れ調査工事について、滝保護工に着手します。 2.南西野溪対策 ・凡夫川凡夫第1砂防ダム本体工事に着手します。
総合土砂管理対策	砂防事業と海岸事業が連携することにより、大沢扇状地の堆積土砂を富士海岸侵食対策のための養浜材料として有効活用を図ります。
情報基盤、安全管理システム	砂防事業と海岸事業が連携することにより、大沢扇状地の堆積土砂を富士海岸侵食対策のための養浜材料として有効活用を図ります。
技術開発	富士HEARTシステムの実用化試験を弓沢川における軌条で継続して実施します。
その他	これまで実施した事業を総括し、今後のあるべき姿の展開を図るため、「富士砂防工事事務所発足30周年記念事業」を実施します。



大沢川遊砂地落着工



富士山源頭部調査工事



平成12年度
富士山直轄砂防事業位置図

- ①猪の窪沈砂土工護岸工事
- ②大沢川源頭部調査工事
- ③大沢川扇状地除石工事
- ④大沢川扇状地床固工工事
- ⑤大沢扇状地樹林帯整備工事
- ⑥足取川溪流保全工工事
- ⑦大久保沢溪流保全工工事
- ⑧溜野沢溪流保全工工事
- ⑨溜野沢浅間橋架替工事
- ⑩凡夫川ダム工群工事
- ⑪砂沢川砂防ダム(用地取得)

富士山砂防30周年記念事業

富士山の昨日、今日、明日

—富士山を見つめ、学び、富士山を愛する人々と語る—

昭和44年度に着手された富士山直轄砂防事業を、昭和45年度の富士砂防工事事務所開設と併せ記念し、この30年に直轄事業として実施してきたことを整理・総括します。そしてそれらを一般の方々にも分かりやすい形で伝え、評価や今後の事業展開についてご意見をいただき、将来につなげていきたいと思っています。

富士砂防の「明日」は
こんな記念事業を行います。

- ①富士山は一つ 連携の促進
- ②緑の保全
- ③国際的な情報発信

1.富士山の実態を知ろう

- ①「緑」をテーマに講演会・現地指導（6月土砂災害防止月間）
富士山緑のゼミナール 6月19日（月）～20日（火）
- ②大沢崩れと御中道見学会（7月～10月の各月1回実施）
- ③大沢扇状地ウォーク（10月頃）



2.記念行事

- ①記念式典・シンポジウム（11月頃）
…事務所開設30周年式典・「明日」を考えるシンポジウム

3.地域との連携事業

- ・地域が主催する行事に協賛または後援

4.富士山と砂防の情報提供

- ・事務所内「SABOコミュニティホールあまつばめ」の活用
- ・「富士山の自然と砂防」の改訂
- ・30年誌（正史）原稿執筆



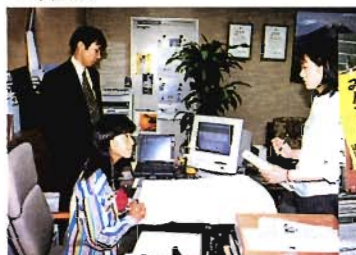
平成
12年

緑や土砂災害に対する意識を高めよう！

土砂災害防止月間行事のお知らせ

6月1日から6月30日までの土砂災害防止月間では、「富士山緑の復元」をテーマに土砂災害に対するさまざまな行事の開催や情報提供などを行います。ゼミナールなど、ふるってご参加ください。

一日事務所長



街頭キャンペーン



保育園児による植栽



※写真は昨年のものです。

老人ホーム

■富士山緑のゼミナール

植生と森づくりなどに関する講演会や再生ポットの制作実演など。
日時／6月19日（月）～20日（火） 場所／富士宮市または富士市

■広報車による巡回と街頭キャンペーン

チラシやグッズ提供のキャンペーンです。
日時／6月 1日（火） 場所／富士宮駅・商店街コース
6月14日（水） 午前／道の駅朝霧・北部コース
午後／富士川サービスエリア・南部コース

■パネル展

砂防に関するパネルやビデオの上映
日時／6月5日（月）～12日（月）
場所／新富士駅ステーションプラザFuji

■フーチャン公園花植え

日時／6月26日（月） ※雨天の場合は27日（火）
上井出保育園児のみなさん

■一日事務所長

山村レイコさん 6月27日（火）

■砂防フェスティバル2000しずおか

日時／6月18日（日）の予定です。

■危険箇所等の点検

日時／6月7日（水）
出水前に危険箇所の土砂災害点検を実施します。



みんなの富士山と、みんなの自然を守るために…

「富士山 緑のゼミナール」 が行われます。

みんなで学ぼう! いまの富士山や森や植物たちの姿、そして役割を。

みんなで知ろう! 森や植物たちを理想の姿に戻すための方法を。

目的

静岡県は平成8年度に台風により激甚な風倒木を破ったことを契機に、富士山自然植生の復元構想「富士山 3776 構想」を平成11年3月に策定した。

富士砂防は従前から植生を活用した砂防事業を推進しているが、「3776 構想」に基づく森づくり、緑づくりを支援するため、市民による植樹としての評価の高い「リサイクルポット」を用い、富士宮市の小中学校において苗木ポットの作製を行い、富士山大沢扇状地に植樹を行い砂防樹林帯を育成する。また富士山の自然植生と森の機能、市民参加による植生復元を学ぶ「富士山 緑のゼミナール」を開催する。

これからは、富士砂防30周年の一環として、また富士宮市の全小中学校の総合学習「富士山学習」を実施します。

1

平成12年6月19日(月) 14:00~16:00 (初級者向け)

場 所:西富士中学校 体育館

対 象:市内中学生、先生(富士山学習の一環)、一般市民、富士砂防工事事務所職員、静岡県・市町村職員

第1部:講演会

- (1)「富士山の自然植生と森づくり」…(30分) 講師…東大名誉教授 渡辺定元先生(富士山自然の森づくり 代表)
- (2)「(仮) (バイオブロック工法による) 市民参加の森づくり」…(30分) 講師…北大名誉教授 東三郎先生
- (3)「(仮) 植生を用いた砂防事業について」…(20分) 講師…土木研究所 砂防部砂防研究室 富田陽子主任研究員

第2部:猪ノ窪沢川へのリサイクルポット苗木移植…西富士中学生

2

平成12年6月20日(火) 9:00~11:00 (上級者向け)

場 所:富士宮市民文化会館 小ホール

対 象:富士砂防工事事務所職員、静岡県・市町村 担当職員、一般市民、NPO

第1部:講演会

- (1)「富士山の自然植生と森づくり」…(30分) 講師…東大名誉教授 渡辺定元先生(富士山自然の森づくり 代表)
- (2)「(仮) (バイオブロック工法による) 市民参加の森づくり」…(30分) 講師…北大名誉教授 東三郎先生
- (3)「(仮) 富士砂防における植生を用いた砂防事業…フジアザミ等」…(10分) 講師…建設省 富士砂防工事事務所

第2部:リサイクルポット作成実演

緑のゼミナールでは いまの富士山のこと、森のこと、植物のこと、そして、富士山や自然を守るためのいろいろな方法など、専門に研究している先生方の講演があります。私たちにできることを一緒に考えていきましょう。また、先生たちへの質問の時間や、森づくりに一役買う「リサイクルポット」を作る実演の時間があります。誰もができる「森づくり」の方法やその大切さをしっかり身につけて、みんなの手で富士山や自然を守り、仲間の輪を広げていきましょう。



これが、うわさの「リサイクルポット」!!



利点

- 1 茶の間で組み立て、ベランダで育てられる
- 2 穴をほらず植林できる
- 3 ポットが細根を守る上ふたが雑草の侵入や乾燥を防ぐ
- 4 自分の目で苗の生長を観察できる

リサイクルポットって、なあに？

「再生ポット」とも呼ばれる、段ボールを組み立てて作った環境にやさしい植木鉢のこと。木を増やしていくためには通常、スコップで穴を掘って苗木を植えていきます。お年寄りや子どもには大変な作業です。また、植えた後にもさまざまな手入れが必要で、育てるのにはとても時間がかかり、植えばなしで終わっているケースも少なくないと言います。そこで登場したのが「リサイクルポット」。紙のポットに苗木の根を守ってくれる働きがあるので、森を作りたい場所に「リサイクルポット」を置くだけで、しっかりと育てていきます。

できないと思っていたことが、「リサイクルポット」の力で、できちゃうよ!

リサイクルポットを使った新しい植樹の特徴は、苗を自分たちの手でゼロから育てるということ。今まで、苗づくりは専門の人たちが行い、一般の私たちには経験のない世界でした。この「リサイクルポット」を使った方法では、自分で苗を育て、自分の目で生長していく姿を確認することができます。苗を育てる喜びやおもしろさ、生命に対する感動や尊さ、森づくりへの参加意識を実感してほしいと思います。

森をつくりたい場所に「リサイクルポット」を置くだけで、木が育つんだよ!

苗が生長した後、掘り起こしてから植え直す作業は慣れない人が行くと、根づかずに枯れてしまうことも多いと言います。しかし、「リサイクルポット」なら、そのまま地面に置くだけで大丈夫。根は紙のポットの底ぶたを通り抜けて、どんどん伸びて生長していきます。

「リサイクルポット」を考え、森づくりを身近にしてくれたのは

東 三郎氏 Saburo Higashi

1926年(大正15年)、鹿児島県生まれ。
有珠山の泥流対策等の砂防対策を指導。北海道大学退官後、森林空間研究所主宰、農学博士、北海道大学名誉教授。専門は砂防学。自然の摂理に沿った砂防の実践「低ダム」を提唱。荒れた土地の植生復元に取り組み、えりも岬などの緑化事業を成功させました。また、豊かな森を市民自身でつくっていかうと呼びかけ、1999年(平成11年)5月から札幌市において「市民参加の森づくりセミナー」を主宰。一般向け著書に「北海道森と水の話」(北海道新聞社)、「森づくりの技と心」(ギミック)などがあります。学術分野の論文と著書も多数。日本林学賞(昭和56年度)、勲三等旭日中綬章など受賞。



こんなにカンタン

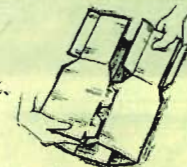
「リサイクルポット」づくりにチャレンジしよう!!

1 材料を用意します。



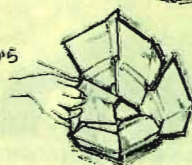
2

本体の凸部分を差し込み口に、外側からはめ込みます。



3

折り目に従って内側から折り込んでいきます。



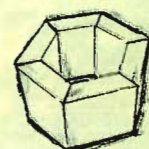
4

逆さにして、壁の内側に新聞紙やシュレッターにかけた紙などをめらして詰め、形を整えます。



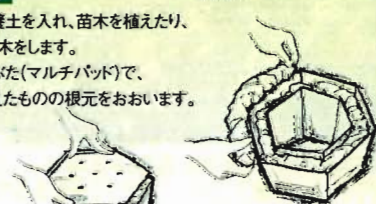
5

底ぶたをはめ込んで、テープでとめます。



6

培養土を入れ、苗木を植えたり、さし木をします。上ふた(マルチバッド)で、植えたものの根元をおおいます。



7

草をはぎ取り、ならした地面に密着するようにポットを置きます。



※中心にミズナラやハルニレなどを置き、そのまわりにヤナギのポットを組み合わせて置きます。

いろんなところで

「市民参加の森づくり」が

みんなで育てた木を植えて、富士山の土砂崩れを防ごう。

そして、災害に強く自然が豊かな富士山にしていこう。そんな富士砂防工事事務所の呼びかけに、富士宮市内の8つの小中学校が、活動を始めました。

富士砂防では今、遊砂地をつくるなどの対策のほか、

遊砂地の中や周囲に木を植えることで土石流の勢いをくいとめる事業に取り組んでいます。

富士山大沢扇状地への植樹をねらいとした小中学生によるリサイクルポット苗木の製作を企画し、

映画の上映や職員による説明を行い理解を深めてもらうとともに、みんなの手で富士山を守ってほしいと協力を依頼しました。

富士宮西小学校



まず、大沢崩れや土石流の実態と砂防樹林帯のはたらき、リサイクルポットの製作方法を説明しました。



西富士中学校

砂防における
樹林帯の意義を学ぶ



手作りのこの「リサイクルポット」には、「富士山を守ろう」との願いをこめて、1人1人絵や願いを描き込みました。

1 製作



富士宮第四中学校

白糸小学校



2

植え付け

上井手小学校



「リサイクルポット」への苗木の植え付け風景。みんなで力を合わせて行いました。

はじまっています。

上井出小学校



自然に帰る日を待つ「リサイクルポット」。たくさんの森の命が、学校から生まれました。

3 完成

富士宮第四中学校



富士宮西小学校

井の頭小学校

8つの小学校の 皆さんの協力により、 苗木ポット2000製作

4 水まき



富士宮西小学校

春に植えた苗木は大事に学校で育て、秋頃に富士山の大沢扇状地などに持っていく予定です。「早く育って!」と苗木の成長が気になり、水やりも真剣です。



富士宮市の井之頭小学校では全校生69名で、コナラ、クヌギなど6種類、約100本の苗を植えました。作業がうまくいかない1年生を6年生が手伝うほえましい姿も…。(朝日小学生新聞)

土石流防止に 自生樹を育苗



富士宮四中の生徒たちが育てた約1,500本の木が、富士山の土石流災害を防ぐために役立っています。(静岡新聞)

大沢扇状地
砂防施設に
今秋
1500
本植樹
コナラなど6種



「再生ポット」で 土砂流出防止

富士宮市内の8つの小・中学校でも「リサイクルポット」にチャレンジ。富士山を守りたいという真摯な思いは、子どもたちの間にも確実に広がっています。(朝日新聞)

富士宮市内の8つの小・中学校でも「リサイクルポット」にチャレンジ。富士山を守りたいという真摯な思いは、子どもたちの間にも確実に広がっています。(朝日新聞)



富士砂防工事事務所では、大沢扇状地への植樹を進めるため、小・中学校にも協力をお願いをしています。富士宮市内の小・中学校では、5つの学校が「みどりの少年団」を発足させ、緑の復活に一生懸命取り組んでいます。(富士ニュース新聞)

みんなを土砂から守ってくれる緑の帯、砂防林

砂防ダムや床固工などの防災施設とともに、周辺の樹林帯を利用して土砂災害を防ぐこともできます。樹林帯は土砂の流れを抑え、拡散させたり堆積させるなどの役目を果たします。また、この“砂防樹林帯”は豊かな自然環境を生み出し、レクリエーションなどで楽しむこともできます。大沢川の扇状地の砂防施設の周辺には74ヘクタールもの砂防林があり、強いしっかりした林を保つための維持管理が行われています。



自然林で作られた砂防樹林帯。林の中には生態系を配慮した小動物の水飲み場などもあります。

お知らせ コーナー

富士山直轄砂防30周年記念

大沢崩れと御中道見学会

富士山の大沢崩れは、今から約千年前から始まったといわれています。この大沢崩れの荒廃状況を、皆様ご自身の目で確かめて、自然の脅威と砂防事業について理解を深めていただくための見学会を今年も行います。参加ご希望の方は、下記の要項にてお申し込みください。



■対象：原則として県内在住の方

■定員：35名(1回あたり)

■実施日：第1回／7月25日(火) 申込締切日 7月11日(火)

第2回／8月23日(水) 〃 8月9日(水)

第3回／9月22日(金) 〃 9月8日(金)

第4回／10月19日(木) 〃 10月5日(木)

■参加費：1,000円(交通費および保険料)

■コース：集合／富士宮市浅間神社湧玉の池東バス停(8:20)

湧玉の池東バス停(8:30)―バス 富士スバルライン御庭(10:30)―徒歩 御中道・大沢(12:30)―昼食―徒歩 御庭(15:00)―バス 湧玉の池東バス停(17:00)

■申込方法：往復ハガキに住所・電話番号・希望日(複数可)・氏名・年齢(ご家族・グループの場合は全員と代表者)を記入して、締切日までに下記の所へ申し込んでください。

〒418-0004 富士宮市三園平1100番地

建設省 富士砂防工事事務所 TEL0544-27-5221

※見学希望者が多い場合は、抽選とします。見学いただく方へは、その旨別途ご連絡いたします。

※人数に制限があり、見学いただけない場合もございますのでご了承ください。

■その他：

1.コースには徒歩での山歩きが4時間程度入ります。小学生の参加は高学年で父兄同伴とします。

2.見学コースには危険な所もありますので、見学者には別途配布する見学案内を遵守していただきます。

第5回 富士山への手紙・絵コンクール

富士山から学んだこと、元気づけられたこと、美しい富士山をいつまでも残していくために…、富士山と共に生きている私たちの富士山に対するそれぞれの思いを手紙に、絵に描いて送ってください。

応募要項

■手紙部門

応募資格：小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

作品規格：一人1点(未発表のもの)、ハガキ400字以内

■絵部門

応募資格：どなたでも応募できます。

作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご配慮ください。用紙は四つ切を使用してください。

審査賞：特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。

審査委員長 村松友視(作家)

応募期間：平成12年7月1日(土)～9月16日(土)(当日消印有効)

応募先：〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地

富士宮市教育委員会 学校教育課

富士山への手紙・絵コンクール事務局

応募方法：詳しくは6月中旬に主催者が配布する「募集要項」をご覧ください。

主催：富士宮市・富士宮市教育委員会

(社)富士宮青年会議所・建設省富士砂防工事事務所

情報提供のお願い

富士砂防が関係する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いいたします。

<連絡先>

富士砂防工事事務所

担当／建設専門官・大石、または調査課長・時田まで

<お問い合わせ先>

■建設省富士砂防工事事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL0544-27-5221

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出826-1

TEL0544-54-5221

インターネット <http://www.cb.moc.go.jp/fujisabo>

TEL0544-27-5221 (内線542、351)